

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2009年9月)

発表日2009年11月17日(火)

～単月では4ヶ月ぶりのマイナスも、7-9月期は6四半期ぶりのプラス～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 小杉 晃子
TEL : 03-5221-4548

(単位:%)

	第3次産業活動指数		電気・ガス・ 熱供給・水 道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品 賃貸業	宿泊業・飲食 サービス業	医療・福祉	生活関連 サービス・娯 楽業	学術研究・専 門・技術サー ビス業
	前期比	前年比										
08	1-3月	0.0	0.6	0.9	0.6	0.4	0.6	1.0	0.1	0.2	0.1	0.6
	4-6月	▲0.4	▲0.5	▲1.9	2.1	▲0.4	▲0.4	▲0.3	▲0.1	▲0.3	0.7	▲1.6
	7-9月	▲0.9	▲1.2	▲0.1	▲1.0	▲1.4	▲1.2	▲1.1	▲0.6	▲0.6	0.4	0.1
	10-12月	▲1.7	▲3.0	▲0.9	▲0.3	▲2.2	▲3.5	▲2.4	▲0.9	▲0.2	0.3	▲1.0
09	1-3月	▲3.1	▲6.5	▲4.2	▲2.1	▲3.4	▲8.6	▲1.8	0.5	▲3.4	1.2	▲1.0
	4-6月	▲0.7	▲6.3	▲0.4	2.1	▲1.4	▲2.4	2.8	▲0.5	0.2	0.9	▲0.7
	7-9月	0.5	▲5.0	▲1.5	▲2.6	1.9	2.4	▲1.5	▲0.1	▲0.8	0.6	0.4
08	1月	0.2	0.7	0.1	▲0.4	0.3	0.9	0.2	0.5	▲0.6	▲0.3	0.1
	2月	0.2	1.9	2.2	0.6	0.7	▲0.2	0.0	▲0.7	▲0.2	0.0	▲0.6
	3月	▲0.5	▲0.6	▲3.6	▲2.7	▲0.2	▲0.3	▲1.3	0.0	0.2	0.1	▲0.2
	4月	0.2	0.5	0.1	4.2	▲0.3	0.2	0.5	0.2	▲0.6	0.3	▲0.9
	5月	▲0.2	▲0.7	0.5	▲0.5	0.1	0.0	▲0.2	▲0.2	0.3	0.6	0.0
	6月	▲0.6	▲1.2	▲1.8	▲0.3	▲0.9	▲1.0	0.6	0.0	0.0	▲0.3	▲1.1
	7月	0.3	0.2	3.3	▲0.5	0.2	1.6	▲1.1	▲0.4	0.1	0.3	1.8
	8月	▲0.9	▲2.8	▲4.2	0.6	▲2.0	▲2.6	▲0.1	0.0	▲1.0	▲0.2	▲1.8
	9月	▲0.3	▲1.0	1.7	▲1.8	1.0	▲1.0	▲0.8	▲0.3	▲0.3	0.7	0.6
	10月	0.0	▲1.6	0.4	1.0	▲0.5	0.2	▲0.4	▲0.5	▲0.1	▲0.1	▲1.5
	11月	▲0.9	▲4.2	0.6	0.0	▲1.1	▲1.6	▲1.6	▲0.6	0.7	0.1	0.9
	12月	▲1.7	▲3.3	▲3.8	▲0.8	▲2.9	▲3.5	▲0.9	0.6	0.2	▲0.3	0.5
09	1月	0.5	▲4.3	0.0	1.8	0.9	▲0.1	▲1.2	0.6	▲3.3	2.2	▲1.9
	2月	▲2.0	▲7.3	▲2.5	▲0.9	▲3.0	▲5.2	0.0	0.0	▲1.5	▲2.0	2.1
	3月	▲2.7	▲7.7	▲0.3	▲8.2	▲0.3	▲7.1	1.7	▲0.9	1.4	1.7	▲3.2
	4月	2.0	▲6.3	▲0.2	8.2	▲0.3	4.0	2.1	0.1	0.1	0.8	1.5
	5月	▲0.4	▲7.3	1.8	1.6	▲0.1	0.9	▲1.5	0.0	1.1	▲1.4	▲1.0
	6月	0.2	▲5.3	▲1.1	▲2.2	0.8	▲0.6	1.4	▲0.1	▲2.9	1.8	0.0
	7月	0.5	▲5.5	▲1.0	1.0	0.4	3.1	▲2.3	▲0.4	1.5	▲0.6	0.5
	8月	0.3	▲4.4	▲0.8	▲1.9	0.5	▲0.8	2.1	0.4	▲2.0	0.7	▲0.2
	9月	▲0.5	▲5.0	0.7	▲4.4	1.9	▲0.2	▲2.8	0.3	1.8	▲0.4	1.1

(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

○第3次産業活動指数：前月比▲0.5%

9月の第3次産業活動指数は前月比▲0.5%と、コンセンサス(同: +0.1%、レンジ: 同▲1.0%~+0.5%)を下回った。

主要13業種のうち、プラスに寄与した業種は運輸業、郵便業(前月比寄与度+0.17%ポイント)、学術研究、専門・技術サービス業(同+0.16%ポイント)、宿泊業、飲食サービス業(同+0.09%ポイント)、生活関連サービス業、娯楽業(同+0.06%ポイント)、不動産業、物品賃貸業(同+0.03%ポイント)などの9業種、マイナスに寄与した業種は情報通信業(同▲0.45%ポイント)、金融業、保険業(同▲0.27%ポイント)、卸売業、小売業(同▲0.05%ポイント)、医療、福祉(同▲0.04%ポイント)の4業種であった。

9月は、単月では4ヶ月ぶりにマイナスとなったが、これはソフトウェアの受注額が減少したことなどから、情報通信業がマイナスに寄与した影響が大きく、こうした要因を除けば、幅広い業種でプラスとなっている。7-9月期の結果も前期比+0.5%と、6四半期ぶりにプラスに転じており、第3次産業活動指数は輸出・生産の回復や企業収益の持ち直しなどを背景に緩やかな回復傾向にあるといえよう。

○家計部門は改善、企業部門は悪化

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門が

¹ 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、飲食サービス・宿泊業、医療・福祉、学習

前月比+0.5%、企業部門²が同▲0.4%であった。家計部門は、景気対策の効果などにより小売業の堅調な推移が続いていることに加え、シルバーウィークの効果を受けて、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス、娯楽業などの消費関連業種も押し上げに寄与したことで、2ヶ月ぶりにプラスとなった。

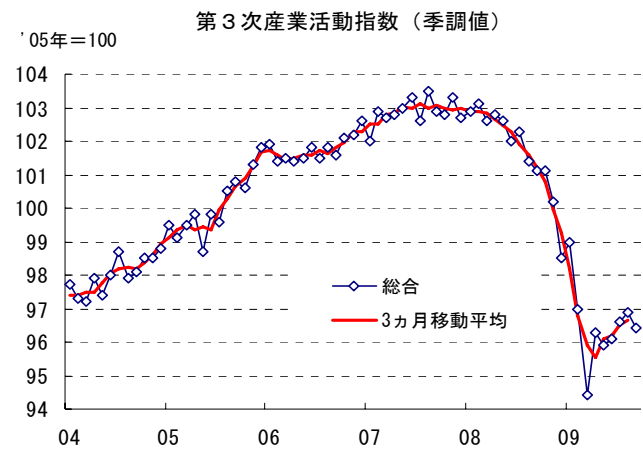
企業部門は、設備投資の低迷などによって情報サービス業が押し下げに寄与したため、9月はマイナスとなった。もっとも、単月ではマイナスであるが、卸売業、貨物運送業などの物流関連業種は、輸出や生産の回復を背景に改善傾向が継続していることを考慮すると、均してみれば改善傾向が続いているといえよう。

○先行き企業関連サービス部門を中心に、緩やかな改善が見込まれる

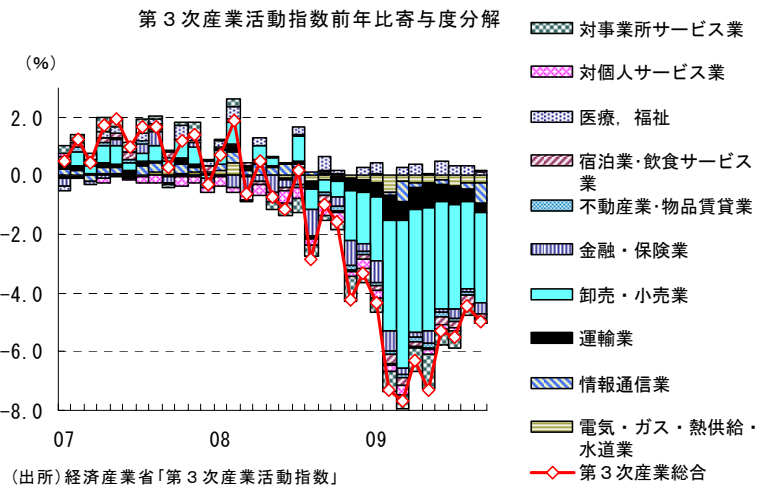
第3次産業活動指数の先行きを展望すると、家計部門に関しては、これまでは政策効果による小売業の下支えが続いていたが、今後はこうした政策効果が弱まってくることや、足もとにおける厳しい雇用・所得環境を受けて、回復力に乏しい動きが続くと思われる。

一方、企業部門においては、輸出・生産の回復に伴う物流関連業種の回復の継続が見込まれることや、企業収益の持ち直しを通じて専門・技術サービス業などのサービス部門業種の持ち直しが予想されるため、今後も改善傾向が継続されよう。

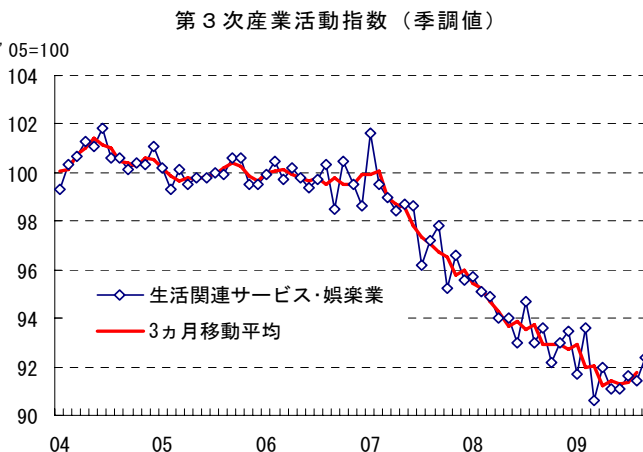
以上を踏まえると、先行き第3次産業活動指数は、企業関連サービス部門を中心に、緩やかに改善していくことが予想される。



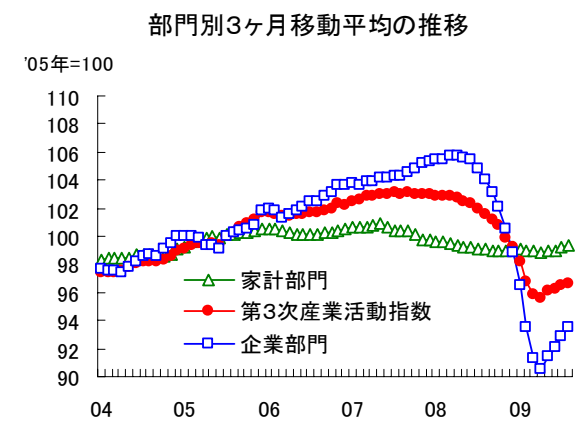
(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

支援業、生活関連サービス・娯楽業

² 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、物品賃貸業、自動車賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。